

2024年11月9日 更新

万葉植物の宝庫： 武蔵野玉川上水の花とみどり

多摩川上水緑の会
サイトの
QRコード



夜久竹夫
(武蔵野玉川上水緑の会)

2024年11月3日
令和6年夜久学館文化祭

YGD-2024-010 ©2024 YakuGakkan

YGD-2024-010 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

このスライドのQRコード
(PDF約25MB)
ダウンロードに時間がかかります



要約



万葉集記載の植物：約150種。
左の回廊周辺：その内約120種。
120種の写真と万葉集和歌の対比
春夏秋冬順

回廊(桜堤コミセンスタート)
スタート：桜堤コミセン
→玉川上水
→A井の頭公園
→吉祥寺通り→千川上水
→境橋、仙川
→ゴール：桜堤コミセン

komoot地図使用

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

参考資料

1. 国分寺市教育委員会編、国分寺市の万葉植物、国分寺市教委、平成4。
2. 片岡寧豊、万葉の花、青幻舎、2020、175p.
3. たのしい万葉集：万葉集の草花, <http://art-tags.net/manyo/flower/>
4. 万葉集の植物, <http://www3.kcn.ne.jp/~kato/nature/mans.html>
5. はじめての万葉集/奈良県公式HP, <http://www.pref.nara.jp>
6. 夜久学館ホームページ, <http://www.yaku.org>

このスライドの一部は次で上映された

夜久竹夫他、映像紹介、桜堤コミセン文化祭、2022年10月、2023年10月、2024年10月、武蔵野市桜堤コミュニティセンター。

夜久竹夫他、武蔵野玉川上水緑の会上映会、2024年5月11日、武蔵野市西部コミュニティセンター。

協力 玉川上水緑の会(武山伸晃、村上正美)、高橋睦世、けやきねっと

このスライドは CC BY-NC-ND の下で利用可能

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

目次

1. はじめに	...	1
2. 春の万葉植物 約22種	...	9
3. 夏の万葉植物 約40種	...	32
4. 秋の万葉植物 約35種	...	73
5. 冬の万葉植物 約22種	...	109
ここまで119種		
6. 探索中の万葉植物	...	132
7. おわりに	...	136

全部で136ページ、1ページ当たり基本15秒上映、上映時間約40分

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

1. はじめに 桜堤周辺の環境

桜堤周辺: 玉川上水、仙川、小金井桜、境村分水跡の緑地が豊富
除草作業と伐採で減っているが、万葉集で詠まれた草木が多数



YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

5

5

目的: 玉川上水周辺の万葉草花の 探索と紹介

内容: 約150種中約120種の画像と対応する万葉和歌、
季節順、暦は万葉集に従い旧暦

植物の**色形**と**香り**、風にそよぐ**音**と**動きのリズム**は万葉時代と同じ

→植物を見ながら歌を詠むと伝統的な感覚がよみがえる、その感覚を体感しましょう！

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

6

6

各節の内容:



注。万葉名と現代名は異なることが多いため参考資料の説に従う。
諸説ある場合は著者の判断により名称が似ている現代名を採用。

2024

2024

NC

7

凡例

背景色は季節を表す:
緑→春、黄→夏、茶→秋、青→冬

現代名

ひらがな万葉名 万葉表記

説明

巻号- 歌番号 作者:

画像

歌本文訓読み
赤字は植物名
青字は強調箇所(著者彩色)

撮影情報日付けと場所

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

8

8

2.春 (旧暦1月-3月)



YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

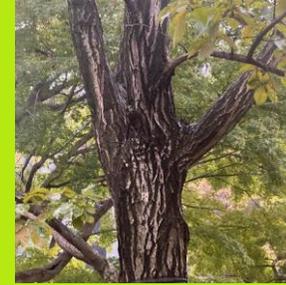
9

9

コナラ 小櫓

こなら 許奈良

巻14-3424 作者不明



2023年11月10日 桜堤遊歩道

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

10

10

ワラビ 蕨

わらび 和良妣 一首

山菜

巻8-1418 志貴皇子:



2023年11月16日
玉川上水梶野橋

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

11

11

石劇(いはばしる)
垂水の上の
さ 和良妣(わらび)の
萌え出づる春に
なりにけるかも

カシ 樫

かし 可新

万葉集 巻1-0009 額田王:



2023年12月12日撮影
梶野橋周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

12

12

静まりし
浦浪さわく
吾が背子が
いまたせりけむ
蕨(いつ)可新が本(もと)

ヤナギ 柳

川べり 街路樹



柳橋にあった。
画像は2023年12月23日
吉祥寺通り

やなぎ 柳

巻10-1819 作者不明

うちなびく
春立ちぬらし
我が門の
柳乃末(うれ)に
鶯鳴きつ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 13

13

春菜は春の菜の総称

はるな 春菜

画像はフキ



2020年2月19日撮影
玉川上水周辺

巻8-1427 山部赤人:

明日よりは
春菜摘まむと
標めし野に
昨日も今日も
雪は降りつつ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 14

14

ウメ 梅

中国原産、中華民国国花、
南京、武漢等の市花



2020年3月16日撮影
小金井公園

うめ 梅

巻5-0815 紀男子:

むつき立ち
春の来たらば
かくしこそ
梅を招(を)きつつ
楽しき終へめ
「大貳紀卿」

(むつき || 旧暦正月)

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 15

15

スミレ 堇

山菜、種子と根茎に毒あり

すみれ 須美礼

巻8-1424 山部赤人:



2020年3月22日
玉川上水

春の野に
堇摘みにと
来し吾ぞ
野を懐かしみ
一夜寝にける

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 16

16

ツボスミレ 壺堇
色の名前にもなっている



2023年3月27日
仙川水辺公園

つほすみれ 都保須美礼
万葉集 卷8-1444 高田女王

山吹の
咲きたる野辺(のへ)の
都保須美礼
この春の雨に
盛りなりけり

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 17

17

アセビ 馬酔木
有毒植物、殺虫剤
をし 鴛鴦：おしどり



2021年3月30日
玉川上水土手

あしび 安之婢
万葉集 20-4511 三形王：

をしの位む
君がこのしま
今日見れば
安之婢(あしび)の花も
咲きにけるかも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 18

18

ヤマブキ 山吹



2021年3月30日
玉川上水新橋西側

やまぶき 山吹
万葉集 卷8-1435 厚見王：

かはづ鳴く
神奈備川に
影見えて
今が咲くらむ
山吹の花

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 19

19

サクラ 桜
国花、実は食用



2020年4月2日
小金井公園の大島桜

さくら 桜
巻20-4361 大伴家持：

桜花
今盛りなり
難波の海
押し照る宮に
聞こしめすなへ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 20

20

シャガ 射干 (説有り)
別名 胡蝶花
中国原産、中国では射干は檜扇のこと

はなかつみ **花勝見**

巻4-0675 中臣女郎(いらつめ):



2021年4月17日
玉川上水土手

をみなえし
佐紀(さき)沢に生ふる
花勝見
かつても知らぬ
恋もするかも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 21

21

現代名 キリ 桐
アオキリ

ごどう **悟桐**

巻5-810 大伴旅人



2022年4月21日
玉川上水境橋

序文
大伴旅人等
慎みて壮す
悟桐の日本琴
一面...

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 22

22

ソルマメ全般
画像はカラスノエンドウ

まめ **麻米**

巻20-4352 丈部(はせつかべの)鳥



2022年4月23日
玉川上水陣屋橋付近

道の辺(へ)の
蔭(うまら)のうれに
延(は)は**麻米**の
からまる君を
あかれか行かむ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 23

23

ヤマクワ 山桑
にいぐは：桑の新芽

くは **桑、具波**

巻14-3350 作者不詳：



2020年7月23日撮影 玉川上水土手

筑波嶺の
にいぐは繭の
衣(きぬ)はあれど
君が御衣(みけし)
あやに着欲しも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 24

24

現代名 オオムギ 大麦

むぎ 麦

巻12-3096 作者不詳:



2022年4月23日撮影 玉川上水曙橋

馬柵(ませ)越しに
麦食む駒の
罵(の)らゆれど
猶(なほ)し恋しく
思ひかねつも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 25

25

現代名 アブラナ 油菜
油菜一般、油菜科総称

くくたち 茎立

巻14-3406 東歌(上野の国):



2020年4月25日撮影 玉川上水

上野(かみつけ)の
佐野の茎立(くく
たち)
折りはやし
我は待たむと
今年来ずとも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 26

26

ツツジ 躑躅

東アジア原産

つつじ 管自

巻9-1694 柿本人麻呂



2022年4月28日
玉川上水曙橋付近

栲嶺中(たくひれ)の
鷺坂山の
白(しら)管自(つつじ)
われににほはね
妹に示さむ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 27

27

チガヤ 茅萱

食用可 甘い

あさぢ 浅茅 (つばな)

巻 3-333 大伴旅人



2023年5月2日
玉川上水境橋

浅茅原
つばらつばらに
もの思(も)へば
古(ふ)りにし里し
思ほゆるかも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 28

28

現代のヤブツバキ
(通称 ツバキ) 椿

つばき 椿 都婆吉

卷1-0056 春日蔵首老(おゆ)



2020年5月7日
多摩川上水新橋付近

河上の
つらつら椿
つらつらに
見れども飽かず
巨勢の春野は

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 29

29

ノイバラ 野茨
薬草

うまら 宇万良

卷20-4352 丈部鳥:



2021年5月10日
境橋

道の辺の
宇万良のうれに
延は豆の
からまる君を
はかれか行かむ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 30

30

シラン 紫蘭
日台中原産
偽球茎は薬草の白及、止
血、痛み止め、慢性胃炎

けい 蕙

卷17-3967 大伴池主



2023年5月12日
桜堤遊歩道

(序文)
豈(あに)慮(はか)りきや
蘭蕙(けい)叢を隔て、
琴樽用(つか)はるること
無けむと...

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 31

31

3. 夏 (旧暦4月-6月)



YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 32

32

スィカズラ説有り

たまかづら **玉葛**

蜜をすつたため、すいぼな

巻2-0101 作者:大伴安麻呂

玉葛
実ならぬ木には
ちはやぶる
神ぞつくといふ
ならぬ木ごとく



2021.5.10 もみじ橋付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 33

33

ウツギ、空木、ヒメウツギ **うのはな 卯の花**

巻8-1472 石上堅魚

霍公鳥(ほととぎす)
来鳴き響もす
卯の花の
共にや来しと
同はましものを



2021年5月10日
上水くぬぎ橋付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 34

34

エゴノキ
別名 高苳(チシャ) 毒

ちさ **萬苳**

巻11-2469 柿本人麻呂

山萬苳(ぢし)の
白露重み
うらぶれて
心も深く
我が恋やまず



2021年5月10日
上水くぬぎ橋付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 35

35

ニビル 野蒜
食用

ひる **蒜**

巻16-3829 長忌吉麻呂(ながのおきまろ)

醬酢(ひしおす)に
蒜に撞(つ)きかてて
鯛願う
我れにな見えそ
水葱(なぎ)の羹(あつもの)



2022年6月1日
玉川上水土手

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 36

36

ネジバナ、擬じ花(説有り) **ねつこぐさ 根都古草**

翁草説も 卷14- 3508 作者:不明



2024. 6.13
桜堤公園

しばつきの
みうら崎なる
根都古草
相見ずあれば
我れ恋ひめやも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 37

37

ヤマモモ 山桃 **もも 桃**

中国原産、現代の桃は
当時は毛桃(説有り) 卷7- 1356 作者:不明



2024.6. 13 関
前公園付近

向つ峰に
立てる**桃**の本
ならめやと
人ぞささやく
汝が心ゆめ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 38

38

オミナエシ、女郎花 **をみなへし 女郎花**

秋の七草、消炎、排膿 10-2115 作者不明



2021年6月24日
小金井橋東側

手に取れば
袖さへにほふ
女郎花
この白露に
散らまく惜しも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 39

39

アワ 粟 **あわ 粟**

画像是エノコログサ(粟の
原種)(食用可) 卷14-3364 作者不詳



2020年7月14日
玉川上水周辺

足柄の
箱根の山に
粟蒔きて
実とはなれるを
粟なくもあやし

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 40

40

ヒルガオ 昼顔

かほばな 容花

万葉集 卷8-1630 大伴家持



2020年7月14日
玉川上水周辺

高円の
野辺の容花
面影に
見えつ妹は
忘れかねつ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 41

41

ヤブラン 藪蘭
説有り

やますげ 山菅

万葉集 卷11-2456 柿本人麻呂



2020年7月18日
仙川沿い遊歩道

ぬばたまの
黒髪山の
山菅に
小雨降りしき
しくしく思ほゆ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 42

42

カンゾウ、萱草、忘れ草

わすれぐさ 忘れ草

食用、山菜
一日で花が萎むから忘れ草

万葉集 卷11-2475 柿本人麻呂歌集



2020年7月19日
玉川上水周辺

我がやどは
薨しだ草
生ひたれど
恋忘れ草
見るにいまだ生ひず

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 43

43

ユズリハ 楪

ゆづるは 弓弦葉

葉が交替するからユズリハ
親子が代々続くことで、縁起木

万葉集 卷18-0111 弓削皇子(ゆげのみこ)



2020年7月20日
玉川上水曙橋付近

いにしへに
恋ふる鳥かも
弓弦葉の
御井の上より
鳴き渡り行く

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 44

44

ツタ類一般

つな 綱

画像はテイカカズラ 定家葛名は藤原定家に由来

巻6-1046 作者不詳 :

岩綱の
またをちかへり
あをによし
奈良の都を
またも見むかも



2020年7月20日
仙川沿い

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 45

45

コウゾ 楮

ゆふ 木綿

和紙の原料

巻6-909笠金村 吉野賛歌:

山高み
白木綿(ゆふ)花に
おちたぎつ
瀧の河内は
見れど飽かむも



2020年7月20日
玉川上水曙橋

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 46

46

ハハコグサ 説有

にこぐさ 和草

春の七草の御形、
養用

巻11-2762 作者不詳

葦垣の
中の和草(にこぐさ)
にこやかに
我れと笑(え)まして
人に知らゆな



2020年7月20日 玉川上水周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 47

47

ヨモギ 蓬

よもぎ 余母疑

蓬餅とモグサの素:

巻18-4116 大伴家持 :

大君の
任(ま)きのまにまに
取り持ちて
仕ふる国の
あやめぐさ
余母疑かづらき
酒みづき
(長歌)



2020年7月20日撮影 曙公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 48

48

現代名 コケ 苔:

こけ 蘿

万葉集 卷6-0962 葛井広成 :



奥山の
岩に苔生し
畏くも
問ひたまふかも
思ひあへなくに

2020年7月20日 仙川水辺公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 49

49

ヒオウギ 檜扇

ぬばたまは本種の実

万葉集 卷6-0925 山部赤人 :



ぬばたまの
夜のふけゆれば
久木生ふる
清き川原に
千鳥しば鳴く

2020年7月20日撮影 仙川周辺
この画像は花の裏側。表に黒ごまあり。

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 50

50

現代 ツル性植物一般の美称
画像はテイカカズラ
真葛(サナカズラ)説も有り

たまかづら 玉葛

卷2-0101 大伴安麻呂 :



玉葛
実成らぬ木には
ちはやぶる
神ぞつくといふ
ならぬ木ごとに

2020年7月20日 仙川周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 51

51

現代名 ツユクサ 露草
薬用: 鴨跖草(解熱、腹薬)、
食用可

つきくさ 月草

卷4-0583 大伴坂上家乃大娘 :



月草の
うつろひやすく
思へかも
我が思ふ人の
言も告げ来ぬ

2020年7月22日撮影 曙公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 52

52

アジサイ 紫陽花
薬草で毒草 日本原産:

あぢさゐ 安治佐為

卷20-4448 橘諸兄 :



安治佐為の
八重咲く如く
弥(や)つ代にま
いませわが背子
見つ思(し)の(ば)ぬ

2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

53

タチアオイ 立葵、説あり

あふひ 葵

卷16-3834 作者不詳 :



梨(なつめ)
奈(きみ)に粟(あは)
延(は)ふ葛(くわ)の
後(のち)も逢(あ)はむと
葵(あふひ)花(は)咲(さ)く

2020年7月23日撮影 上水曙橋付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

54

ヨメナ 嫁菜 (カントウヨメナ)
野菊の一種
若芽は食用

うはぎ 菟芽

卷10-1879



春日野に
煙(けぶり)立つ見ゆ
娘子(むすめ)らし
春野のうはぎ
摘みて煮らしも

2020年7月23日撮影 梶野橋付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

55

ヘクソカズラ 屁糞葛:

くそかづら 屎葛

万葉集 卷16-3855 高宮王 :



さうけふに
はひおどれる
屎(くそ)葛(くわ)
絶(た)ゆることなく
みやづかへせむ

2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

56

ヌルデ 白繭木 説有



2020年7月23日撮影 玉川上水土手

かづのき **可頭乃木**

万葉集 卷14-3432 東歌(相模)

足柄の
わき可鶏山の
可頭乃木の
我をかづさねも
かづさかずとも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

57

ヤエムグラ 八重葎/
カナムグラ 鉄葎



2020年7月23日撮影 玉川上水周辺

むぐら **牟具良**

卷19-4270 橘諸兄 :

牟具良延ふ
癒しき宿も
大君の
座さむと知らば
玉敷かましき

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

58

カラムシ 梟

万葉集時代は繊維の材料



2020年7月23日撮影 玉川上水土手

むし **蒸**

卷4-0524 藤原麻呂 :

蒸ぶすま
なごやが下に
伏せれども
妹とし寝ねば
肌し寒しも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

59

現代名 イヌタデ 犬蓼

イヌ:役に立たないの意



2020年7月23日撮影 上水新橋周辺

たて **薬**

卷16-3842 平群朝臣 :

童ども
草はな刈りそ
八**穂薬**を
穂積の朝臣が
腋草を刈れ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

60

現代名 イヌヒエ 稗
稗の原種

ひえ 稗

万葉集 卷11-2476 作者不詳:



2020年7月23日 玉川上水周辺

打つ田には
稗はしあまた
ありといへど
暹(えら)えし我れ
ぞ
夜をひとり寝る

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 61

61

現代表記 ナデシコ 撫子
狭義はカワラナデシコ

なでしこ 那泥之古

巻8-1538 山上憶良

撫でし子の意、秋の七草
むくみ、高血圧



2020年7月23日 梶野橋付近

萩の花
尾花葛花
なでしこの花
をみなへし
また藤袴
朝顔の花

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 62

62

タブノキ 楠の木
丸木舟の材料のひとつ

つま 都萬麻

万葉集 卷19-4159 大伴家持:



2020年7月25日撮影 桜堤遊歩道

磯の上の
都萬麻を見れば
根を延(の)へて
年深かりし
神さびにけり

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 63

63

現代名 スペリヒユ、説有り
食用可

いわるづら 伊波為都良

2020年7月29日 あけぼの公園

入間道(いりまぢ)の
於保屋(おほや)が原
のを
伊波為都良(いわる
づら)
引かばぬるぬる
我(わ)にな絶えそね

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 64

64

現代名 コウゾ 楮
和紙の原料



2020年7月30日 玉川上水曙橋付近

たへ 妙, たく, ゆふ

巻1-28 持統天皇

春過ぎて
夏来るらし
白妙の
衣干したり
天の香具山

女帝
読み方はいくつか有り
百人一首の2首目

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan
NC

マユミ 真弓
弓の材料



2020年7月30日撮影 玉川上水土手

まゆみ 真弓

万葉集 巻2-096 久米禪師 :

みこも刈る
信濃の真弓
わが引かば
貴人(うまひと)
さびて
否と言はむかも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-
NC

檜 ヒノキ



2020年8月1日撮影 桜堤遊歩道

ひ 檜

巻7-1118 柿本人麿 :

いにしへに
ありけむ人も
我が如(ごと)か
三輪 檜原に
かざし折りけむ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC
BY-ND-NC

現代名 シノダケ



2019年8月4日撮影 梶野橋周
辺

しの 小竹

巻1-0045 柿本人麻呂 :

(長歌)
やすみしし
我がおおきみ
高照らす
:
小竹(しの)を押しなへ
草枕
旅宿りせず
いにしへ思ひて

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-
NC

現代名 竹類

たけ **竹**、多毛、太氣真竹
万葉集 卷9-1677 作者不詳：



大和には
聞こえも行くか
大我野の
竹景刈り敷き
廬り(いおり)せりととは

2020年8月4日撮影 玉川上水土手
2024年11月4日 玉川上水

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 69

69

現代名 無し
サクラの皮 桜の皮

万葉名 **かにはは 櫻**
皮
卷6-3432 山部赤人



(長歌)
あぢきはふ
妹が目離(か)れて
敷梓(しきたへ)の
枕もまかず
櫻皮(かにはは) **巻**き
：

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 70

70

現代名 ネムノキ
合歡木 花期は夏

ねぶ **合歡**
卷8-1461 紀 郎女



昼は咲き
夜は恋寝(ぬ)る
合歡の花
君のみ見ぬや
戯奴(わけ)さへに見す

2023年11月2日 上水関野橋東側

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 71

71

4.秋 の万葉植物(旧暦7月-9月)



YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 72

72

現代名 クヌギ 栲

つるばみ 椽

万葉集 卷18-4109 大伴家持：



2020年7月31日撮影 上水くぬぎ橋

紅(くれない)は
移ろふものそ
椽(つるばみ)の
濡れにし衣に
なほ及(し)かめやも

YSD 2024-009 ©2024 Yashodahan, CC BY-ND-NC 73

73

現代名 クズ 葛

くず 葛

秋の七草
根は食材、葛根湯の素

万葉集 卷14-3422 作者不明：



2020年8月20日撮影 玉川上水土手

かみつけの
くろほの峰(ね)ろの
葛葉がた
愛(かな)しけ子らに
いや離(ざか)り来る

くろほ || 赤城山

YSD 2024-009 ©2024 Yashodahan, CC BY-ND-NC 74

74

ヤマノイモ 山野芋

ところ 冬薯蕷

卷7-1133 作者不詳：



2020年9月10日撮影 上水くぬぎ橋付近

皇祖神
(すめろき)の
神の宮人
冬薯蕷(づら)
いやとこしくに
我れかへり見む

YSD 2024-009 ©2024 Yashodahan, CC BY-ND-NC 75

75

ニラ 菰

くく「み」ら 茎菰

きはつく は茨城真壁郡説

卷14-3444 作者不詳 東歌



2020年9月17日 玉川上水土手

きはつくの
岡の茎菰
我れ捕めど
籠(こ)にも満たなふ
背など捕まさね

YSD 2024-009 ©2024 Yashodahan, CC BY-ND-NC 76

76

ハギ 萩

山萩と園芸種あり
万葉集で最多出現141~142首
秋の七草、咳止め、去痰、胃痛、下痢

はぎ 萩

巻10-2125 作者未詳



春日野の
萩は散りなば
朝東風(こち)の
風にたくひて
ここに散り来(こ)ぬ

2020年9月21日 上水平右衛門橋付近

YOD 2024-09 © 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 77

77

ヒガンバナ 彼岸花説有り
別名 曼珠沙華
毒草 中国原産 史前渡来説

いちし 壺師

万葉集 巻11-2480 柿本人麻呂 :



道の辺の
壺師の花の
いちしろうく
人皆知りぬ
我が恋妻は

2020年9月21日撮影 玉川上水土手

YOD 2024-09 © 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 78

78

イタドリ 疼取 説あり
世界の侵略的外来種ワースト
100
別名スカンポで食用可

いちし 壺師

巻11-2480 柿本人麻呂 :



道の辺の
壺師の花の
いちしろうく
人皆知りぬ
我が恋妻は

2020年9月21日撮影 玉川上水土手

YOD 2024-09 © 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 79

79

ススキ 薄

穂が尾の形ゆえ尾花
秋の七草、咳止め、去痰、喉の痛み

をばな 尾花

巻8-1564 日置長枝娘子 :



秋づけば
尾花が上に
置く露の
消(け)ぬべく我は
思ほゆるかも

2020年9月22日撮影 玉川上水周辺

YOD 2024-09 © 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 80

80

現代 屋根ふきの植物一般
画像はススキ(代表的な萱)

かや 萱

万葉集 卷16-3887 作者不詳



2020年9月22日撮影 玉川上水周辺

天なるや
神樂良の小野に
萱草刈り
草刈りばかに
鶉を立つも

YOD 2024-09-22 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 81

81

エノキ 榎
実は食用可(甘い)

ムク 椋を含む説有り
聖徳太子が中に隠れて
難を逃れた逸話あり

え 榎

卷16-3872 作者未詳:




我が門の
榎(え)の実もり
食(は)む
百千鳥(ももちど
り)
千鳥は来れど
君そ来まさむ

榎2020年10月5日
曙橋付近

椋2024年11月4日
銀杏橋西

YOD 2024-09-22 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 82

82

ヒメユリ 姫百合

ひめゆり 姫由理

卷:8-1500 坂上郎女(さかのうえの
いらつらめ):



2021年10月9日撮影 曙橋付近

夏の野の
茂みに咲ける
姫由理の
知らえぬ恋は
苦しきものぞ

YOD 2024-09-22 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 83

83

フヨウ 芙蓉 説あり
日本中国

はねず 朱華

万葉集 卷11-2780 作者不
詳:



山吹の
にはる妹が
朱華色の
赤裳(あかも)姿
夢に見えつつ

2021年10月9日撮影 曙橋付近

YOD 2024-09-22 2024 YakuDokan, CC BY-ND-NC 84

84

フジ 藤

ふぢ 藤
18-4042 田辺福(さき)麻呂



藤波の
咲き行く見れば
ほととぎす
鳴くべく時に
近づきにけり

2020年10月25日 上水北公園

YUKI 2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

85

ノブドウ 野葡萄
山ぶどうは別種

やまつづら 山葛

巻14-3434 作者不明:



上毛(かみつけ)野
安蘇山葛(つづら)
野を広み
延(は)ひにしものを
何(なぜ)か絶えなむ
(よみ 諸説あり
あそ・やまつづら/あ
そやま・つづら)

2020年10月29日 玉川上水曙橋付近

YUKI 2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

86

アカネ 茜
赤い根の意、染料、紫が
赤みを帯びるから紫の枕詞

あかね 茜
巻1-0020 額田王



茜さす
紫野の行き
標野行き
野守は見ずや
君が袖振る

2023年11月1日 玉川上水曙橋付近

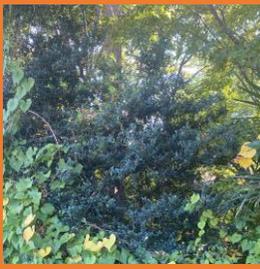
YUKI 2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

87

現代名 ツゲ 柘植
櫛や将棋の材料

つげ 黄楊

巻9-1777 播磨娘子



君なくは
なぞ身(み)装(よそ)
はむ
櫛筥(くしげ)なる
黄楊の小櫛(おぐし)
も
取らむとも思はず

2023年11月1日撮影 くぬぎ橋付近

YUKI 2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

88

現代名 サトイモ 里芋
食用

うも 宇毛
巻10-1895 長忌寸意吉麻呂(ながのいみきおきまろ):



蓮(はちす)葉は
かくこそあるもの
意吉麻呂が
家なるものは
宇毛(うも)の葉に
あらし

2020年11月4日撮影 小金井橋付近

© 2024 IRIYAMA, CC BY-NC

89

マツ 松

まつ 松
巻2-0145 山上憶良:



鳥となり
あはれ呼びつ
見られども
人こそ知らね
松は知るらむ

2020年11月4日撮影 小金井橋付近 御成の松跡

© 2024 IRIYAMA, CC BY-NC

90

現代名 カツラ 桂

かつら 楓 加都良
中国の伝説:月の桂は高い理想⇒月桂 巻10-2202 作者不詳:



黄葉する
時になるらし
月人の
楓(かつら)の枝の
色づく見れば

2023年11月6日撮影 桜堤防災公園付近

© 2024 IRIYAMA, CC BY-NC

91

チカラシバ 力芝
(力芝を含む説あり)

しばくさ 芝草
巻6-1048 田辺福麻呂:



たち変わり
古き都と
なりぬれば
道の**芝草**
長く生ひにけり

2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

© 2024 IRIYAMA, CC BY-NC

92

ミカン科総称 説有り
クネンボ(室町時代伝来説有り) 卷11-2750 作者不明:

あへたちばな **阿倍橘**



2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

我妹子(わぎもこ)
に
逢はず久しも
うましもの
阿倍橘の
苔生すまでに

Y.O. 2024-109 2024 Yamaguchi, CC BY-ND-NC 93

93

ササ類
ササは神降ろしのための
聖なる植物

ささ **小竹**
卷2-0133 柿本人麻呂



2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

小竹(ささ)の葉は
み山もさやに
さやげども
われは妹思ふ
別れ来ぬなば

Y.O. 2024-109 2024 Yamaguchi, CC BY-ND-NC 94

94

マテバシイ 馬刀葉椎
説有

しい **椎**
卷7-1099 作者不明:



2023年11月10日撮影 桜堤遊歩道

片岡の
この向つ峰に
椎蔭かば
今年の夏の
陰にならむか

Y.O. 2024-109 2024 Yamaguchi, CC BY-ND-NC 95

95

シラカシ 白檀

しらかし **白檀**
卷10-2315 柿本人麻呂歌集:



2023年11月10日 玉川上水

あしひきの
山道(ぢ)も知らず
白檀の
枝もとをきに
雪の降れば

Y.O. 2024-109 2024 Yamaguchi, CC BY-ND-NC 96

96

現代 柑橘類

たちばな **橘**
卷6-1009 聖武天皇



2023年11月10日 桜堤遊歩道

橘は
実さへ花さへ
その葉さへ
枝(え)に霜降れど
いや常葉の木

YSD 2024-009 ©2024 YakuGakuho, CC BY-ND-NC

97

かじのき 説有

かづのき **可頭乃木**
万葉集 卷14-3432 東歌(相模)



2023年11月12日撮影 新橋付近

足柄の
わき可鶏山の
可頭乃木の
我をかづとねも
かづとかずとも

YSD 2024-009 ©2024 YakuGakuho, CC BY-ND-NC

98

フジバカマ 藤袴

秋の七草 薬草: 蘭草、
糖尿病、身体のかゆみ

ふしばかま **藤袴**
卷8 - 1538 山上憶良



2023年11月16日 陣屋橋付近

萩の花
尾花葛花
なでしこの花
をみなへし
また**藤袴**
朝顔の花

YSD 2024-009 ©2024 YakuGakuho, CC BY-ND-NC

99

カシワ 柏

次の葉が出てくるまで葉が落ちないため、縁起が良い木とされる(武蔵野市住民談)

かしわ **柏**
万葉集 卷7-1134 作者不詳



2023年11月17日
グリーンパーク緑地(関前)

吉野川
巖と**柏**と
常盤なす
我は通わむ
万代(よろづよ)まで

YSD 2024-009 ©2024 YakuGakuho, CC BY-ND-NC

100

くり 栗

くり 栗

巻9-1745 作者不詳:



2023年11月18日撮影 曙公園付近

三(みづ)栗の
那賀(なか)に向かへる
曝(さらし)井の
絶えず通はむ
そこに妻もが

©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

101

オモダカ 説有り

急ぐ 惠具

巻11-2760 作者:不詳



2021.11.21 仙川緑地周
辺

君がため
あしひきの
山沢急ぐを
摘みに行かむ
日だにも逢はせ
母は責むとも

©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

102

現代名 スゲ類
この歌ではカサスゲ(傘菅)
画像はカヤツリグサの一種

すげ 菅

巻11-2836 作者未詳



2023年11月21日 仙川

三鳥菅(すげ)
いまだ苗にあり
時待たば
着ずやなりなむ
三鳥菅

©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

103

現代名 スゲ類
画像はカヤツリグサの一種

すが 須我

巻14-3352 作者未詳



2023年11月21日 仙川

信濃なる
須我の荒野(あら)に
ほととぎす
鳴く声聞けば
時過ぎにけり
(信濃国歌)

©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

104

現代名 イチイ 一位
イチイガシ説もあり、両種とも食用
仁徳天皇が一位を授けたことに由来
実は食用、ただし種、葉は有毒。弓の材料、

いちひ 伊智比
巻16-3885 乞食者(ほかひ):

長歌
いとし
汝背の君
この片山に
二つ立つ
伊智比(いちひ)が本に



2023年11月29日 桜堤団地中央公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 105

105

現代名 イチヨウ 公孫樹
諸説あり

ちち 知智
万葉集 14-4164 大伴家持:

父の命
ははそ葉の
母の命
おほらかに
心尽くして
思ふらむ

知智(ちち)の葉の



2023年11月29日 境橋付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 106

106

現代名 カエデ 楓

かへるで 蛙手
巻8-1623 田村大嬢:

我が宿に
もみつ 蛙手
見るごとに
妹を懸けつつ
恋ひぬ日はなし



2021年12月3日撮影 曙公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 107

107

5. 冬の万葉植物(旧暦10月-12月)



YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 108

108

ヤマボウシ 山法師

つみ 柘

巻3-387 若宮年魚麻呂



2023年11月1日撮影 あげぼの公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

いにしへに
築うつ入の
なかりせば
ここにあらまし
柘の枝はも

109

109

常緑松柏類の総称
画像は松

かへ 栢

かへ:かわらないが語源、長寿、めでたい

巻19-4169 大伴家持:



2020年11月4日撮影 小金井橋付近 御成の松後継樹

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

(長歌)
ほととぎす
きなくとつぎに
:
松栢(かへ)乃
さかえいまさね
たふときあがきみ

110

110

アカメガシワ 赤芽柏

かしわと同様、葉に食物をのせた



2024. 11.4

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

ひきぎ 久木

万葉集 巻10-1863 不明:

去年(こぞ)咲きし
久木今咲く
いたづらに
つちにか落ちむ
見る人なしに

111

111

ヤマハゼ 山黄櫨

弓の材料



2024. 11.4

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

はじ 波自

万葉集 巻20-4465 大伴家持:

久方の
天の門開き
高千穂の
岳(たけ)に天降り(あもり)の
皇祖(すめろぎ)の
神の御代より
波自由美を
:
長歌

112

112

セキショウ 石菖
岩場に生えるから石菖



2024年11月4日
玉川上水三鷹駅舎西側

あやめぐさ**安夜女具佐**
卷18-4116 大伴家持：
大君の
任(ま)きのまにまに
取り持ちて
仕ふる国の
余母疑かづらき
酒みづき
(長歌)

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

113

スギ 杉
現在日本固有種
種葉材樹
枝葉は基参り用線香の材料



2024. 11.4 井の頭公園

すぎ **杉**
万葉集 卷10-1814 柿本人麻呂：
いにしへの
人の植えけむ
杉が枝(え)に
霞たなびく
春は来(き)ぬらし

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

114

現代名 モミ
日本特産

万葉表記 おみ 臣木
卷3-322 山部赤人



2024年11月6日 小金井公園

すめろきの
臣の木も
生ひ継ぎにけり

地図 ©2023 Google

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

115

ノギク 野菊 説あり
後方:しりへ



2023年11月16日 玉川上水陣屋橋周辺

ももよぐさ **百代草**
万葉集 卷20-4326 壬生部足国
(みぶのたりくに:現静岡掛川の防人)：
父母が
殿の後方の
百代草
百代いでませ
我(わ)が来るまで

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

116

カクレミノ 隠蓑



2023年11月22日 桜堤公園付近

みつながしは 御綱

巻2-90の後記 作者不詳

：皇后紀伊国(さいのくに)に遊行(いでま)して
熊野の岬に到りて
其処の御綱柏(みつながしは)を取りて
還(まるかへ)る：

YG-D-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

コノテガシワ 児の手柏



2023年11月22日 桜堤公園

このてがしは 児手柏

巻16-3836 消奈行文(せなのぎょうもん):

奈良山の
児手柏の
両面(ふたおも)に
かにもかくにも
倭人(こびびと)の伴

YG-D-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

現代名 ツタ一般 葛



2023年11月22日 桜堤

つづら 都豆良

巻14-3434 作者不明:

上毛野(かみつけ)の
阿蘇山(やま)都豆良(つづら)
野を広み
延(は)ひにしものを
何(あぜ)か絶えせむ

YG-D-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

ヤマウルシ 山漆
説有り



2023年11月29日 上水くぬぎ橋東側

はじ 波自

巻20-4465 集中1首だけ

(長歌)
久方の
天の門開き
波自(はじ)を

YG-D-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

現代名 シバ 芝
雑木説も有り



2023年11月29撮影 境橋

しば 之波

巻14-3573 東歌 作者不詳

あしひきの
山かづらかげ
ま之波にも
得がたきかげを
置きや枯らさむ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

121

121

サカキ 榊
神の依り代



2023年12月7日撮影 桜堤団地
写真はヒサカキ

さかき 賢木

巻3-0379 坂上郎女 :

(長歌)
ひさかたの
天の原より
生れ来る(あれきたる)
神の命(みこと)奥山の
賢木の枝に
しらか付け
木綿(ゆふ)とりつけて
いはひきを

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

122

122

現代名 センダン 梅檀
薬草 日本原産



2023年12月

2024年11月4日 玉川上水銀杏橋西

あふち 安布知 棟:

万葉集 巻17-3910 大伴書持:

玉に貫(ぬ)く
安布知を家に
植ゑたらば
山霍公鳥(ほととぎす)
籬(か)れず来むかも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

123

123

現代名 アケビ 木通 説有
実は食用



2023.12.12 梶野橋付近

さのかた 狭野方

巻10-1929 作者不明

狭野方は
実になりしを
今さらに
春雨降りて
花咲かめやも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

124

124

現代名 ヤブコウジ 藪柑子 **やまたちばな 山橋**

園芸名 十両、赤い実

巻19-4226 大伴家持



この雪の
消(け)残る時に
いざ行かな
山橋の
実の照るも見む

2023年12月12日撮影 玉川上水梶野橋周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 125

125

現代名:ケヤキ 樺

画像はムサシノケヤキ

つき 槻

万葉集 巻3-0277 高市黒人:



遠(と)く来ても
見てましものを
山城の
高の**槻**群
散りにけるかも

2023年12月23日撮影 もみじ橋

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 126

126

現代名 スギ・ヒノキ類、榎
画像はヒノキとイヌマキ

真の木の意、神聖視された

まき 真木

巻3-0190 舎人(下級役人):



真木柱
太き心は
ありしかど
この我が心
鎮めかねつも

イヌマキ 2023年12月22日 山中南公園
ヒノキ 2020年7月23日 玉川上水周辺

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 127

127

現代名 カラタチ 枳殻
原産地 長江流域
名前:外国のたちばな(柑橘類)
に由来、この一首だけ

からたち 枳

巻17-3832 大忌部首(いむべのおびと):



枳と
茨(うばら)刈り
除け
倉建てむ
屎遠くまれ
櫛造る刀自(とじ)

2023年12月26日 曙公園付近

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC 128

128

現代名 ヤナギ 柳

川べり



2024年1月5日 吉祥寺大通り（千川上水柳橋にもあった）

24-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

やなぎ 柳

10-1846 作者不明

霜枯れの
冬の耶馬儀は
見る人の
かづらにすべく
萌えにけるかも

地図 ©2023 Google

129

129

現代名 ノキシノブ 軒忍

しだくさ 子太草

巻11-2475 柿本人麻呂歌集



我が宿の
軒に子太草
生いたれど
恋忘れ草
見れどいまだ
生いず

2022年2月21日 撮影 桜堤公園

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

130

130

ミツマタ 三極

和紙・紙幣の原料、
中国中南部原産



2022年3月6日撮影 桜堤遊歩道
桜堤公園付近にもあり

YGD-2024-009

さきくさ 三枝

巻10-1895 柿本人麻呂

春されば
まづ三枝の
幸(さき)くあらば
後(のち)にも逢わむ
な恋ひそ我妹(われ
ぎも)

131

131

6. 画像探索中)

- 7種 ケイトウ、ベニバナ、ネコヤナギ、キキョウ、ユリ、朴の木、ネズミサシ
- 他に水草 数種

地図 ©2023 Google

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

132

132

現代名 ネコヤナギ 猫柳	かはや(な)ぎ 河楊
川べり	巻10-1848 作者不明

画像探索中、以前周辺で見かけた

山の際に
雪は降りつ
しかすがに
この**河楊**(やぎ)は
萌えにけるかも

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

133

133

現代名 ベニハナ	くれない 紅
紅の染料、花は黄色	巻6-1044 作者不明

画像探索中、以前周辺で見かけた

ベニハナ

紅に
深く染みにし
心かも
奈良の都に
年の経ぬべき

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

地図 ©2023 Google

134

134

ケイトウ 鶏頭 説有り	万葉表記 からあい 韓藍
	3-384 山部赤人

画像探索中、以前周辺で見かけた

ケイトウ

我がやどに
韓藍蒔き生し
枯れぬれど
懲りずてまた
も蒔かむとぞ思ふ

YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

地図 ©2023 Google

135

135

7. 終わりに

植物の**色形**と**香り**、風にそよぐ**音**と**動きのリズム**は万葉時代と同じです。

この冊子で植物の**色形**と**歌**を見比べて、伝統的な感覚が少し蘇ったと思います。実際に散策して、漂う**香り**と風**にそよぐ動き**や**音**で更に深い感覚を蘇らせましょう！



YGD-2024-009 ©2024 YakuGakkan, CC BY-ND-NC

136

136